

CSR用語の解説

企業価値を守るCSR

化学会社としてのRC(レスポンシブル・ケア)活動を軸に、社会への負の影響をより小さくする、日本曹達の守りのCSR活動を指します。

企業価値を高めるCSR

社会課題の解決を目指すマテリアリティを軸とする、社会への良い影響をより大きくする日本曹達の攻めのCSR活動を指します。

SDGs

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、国際社会が直面しているグローバルな課題に対し、世界のあるべき姿を17の開発目標・169項目のターゲットから明らかにした2030年に向けた国際社会における新たな目標です。2015年9月、ニューヨーク国連本部で150を超える加盟国首脳が参加して開催された「国連持続可能な開発サミット」で採択されました。

マテリアリティ

財務に重要な影響を及ぼす要因を、主に会計領域における「重要性の原則」として指していましたが、CSR活動のなかから特定された重要課題について「マテリアリティ」の語句が使用されるようになりました。主にCSR活動におけるマネジメントと報告に用いられています。

KPI

KPI(Key Performance Indicator:重要業績評価指標)とは、目標達成のために、具体的な業務プロセスをモニタリングするために設定される指標(業績評価指標:Performance Indicators)のうち、特に重要なものを指します。

ダイバーシティ

性別・年齢・障がいの有無・国籍・価値観などの多様性を尊重して受け入れ、すべての働く人の活躍を促すことにより、企業の持続可能な成長と社会の健全な発展につなげていく考え方のことを指します。

バリューチェーン

製品・技術・サービスを顧客に提供する企業のビジネスモデル全体におけるステークホルダーへの付加価値を最大化していくための考え方で、企業の内部環境分析のフレームワークとしても活用されています。前述のSDGsにおいても、バリューチェーン全体における企業活動の社会・環境インパクトを総点検した結果から、企業の社会的責任の遂行と価値創造の実現が期待されています。

PDCAサイクル

[Plan-do-check-act cycle]の略称で、製造業などの事業活動、例えば、RC活動、生産管理、品質管理などにおいて管理業務をスムーズに進めるための管理サイクルの一つです。第二次大戦後に、品質管理を構築したウォルター・シューハート(Walter A. Shewhart)、エドワーズ・デミング(W.Edwards Deming)らによって提唱されました。

Society 5.0

経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society)のこと。Society3.0(工業社会)、Society4.0(情報社会)の次にIoTやAIなどの科学技術イノベーションにより先導される新たな概念であり、2016年1月に閣議決定されました。

ステークホルダーダイアログ

企業のCSR活動に様々なステークホルダーからの意見を取り入れることを目的に開催される双方向の対話のことです。

国際規格認証について

ISO14001

環境マネジメントシステム(EMS:Environmental Management System)関係の国際標準化機構による国際規格です。環境マネジメントシステムの満たすべき必須事項を定めています。

ISO9001

品質マネジメントシステム(QMS:Quality Management System)関係の国際標準化機構による国際規格です。品質保証を含んだ顧客満足の上を目指するための規格です。

OHSAS18001

Occupational Health and Safety Assessment Series の略で、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の国際標準化規格のことです。組織が従業員の業務上の労働安全と衛生に関するリスクを洗い出し、対策を立案し、これを実施(継続的改善)することで、問題発生リスクを低減させることを目的としています。

ISO26000

国際標準化機構が2010年11月1日に発行した組織の社会的責任に関する国際規格です。

ISO45001

国際標準化機構(ISO)が開発した労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)に関する国際規格です。

化学用語の解説

イエローカード

緊急連絡カードともいい、製品の輸送時に漏洩・火災・爆発等が生じた際、運転手や消防・警察など関係者が取るべき処置や緊急連絡先を記載した黄色いカードを指します。毒物および劇物取締法などで交付と携行が義務付けられています。

容器イエローカード

容器に貼付するラベルに国連番号、応急指針番号を書き加えたものです。

SDS(Safety Data Sheet)

安全データシートの意味で、化学物質・製品名・供給者・危険有害性・安全上の予防措置・緊急時対応などに関する情報を記載した文書をいいます。

GHS(Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)

国際連合経済社会理事会で合意された化学品の分類および表示に関する世界調和システムの意味で、化学品の危険有害性に関する国際的な危険有害性分類基準と表示方法(製品ラベルとSDS)に関するシステムのことです。

REACH(Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals)

欧州化学品規制の意味で、製品を年間1t以上製造・輸入する事業者は、取扱い物質の登録と安全性試験データの提出が求められ、データ提出(登録)のない物質は販売できない欧州の規制です。

GPS/JIPS

JIPSは、国際的な取り組みであるICCAI(International Council of Chemical Associations/国際化学工業協会協議会)のPS(プロダクトストラテジー/グローバル戦略)/GPS(Global Product Strategy,グローバルプロダクト戦略)を基本概念として、サプライチェーンを考慮したリスク評価およびリスク管理をベースにした、産業界の自主的な取り組みです。